



金賞日本一

- 金水晶 ▼ 金水晶酒造店 (福島)
- 廣戸川 ▼ 松崎酒造店 (天栄)
- 雪小町 ▼ 渡辺酒造本店 (郡山)
- 三春駒 ▼ 佐藤酒造 (三春)
- 東豊国 ▼ 豊国酒造 (古殿)
- 人気一 ▼ 人気酒造 (二本松)
- 奥の松 ▼ 東日本酒造協業組合 (二本松)
- 会津中将 ▼ 鶴乃江酒造 (会津若松)
- 名倉山 ▼ 名倉山酒造 (会津若松)

県産酒金賞受賞銘柄

- 会津宮泉 ▼ 宮泉銘醸 (会津若松)
- 弥右衛門 ▼ 大和川酒造店 (喜多方)
- 笹正宗 ▼ 笹正宗酒造 (喜多方)
- 國権 ▼ 国権酒造 (南会津)
- 田島 ▼ 会津酒造 (南会津)
- 榮四郎 ▼ 榮川酒造磐梯工場 (磐梯)
- 萬代芳 ▼ 白井酒造店 (会津美里)
- 學十郎 ▼ 豊國酒造 (会津坂下)
- 一生青春 ▼ 曙酒造 (会津坂下)
- 又兵衛 ▼ 四家酒造店 (いわき)

史上初 6連覇

新酒鑑評会 19銘柄



撮影協力・鈴善漆器店
(会津若松市)

酒類総合研究所(広島県東広島市)は17日、2017酒造年度(17年7月~18年6月)の日本酒の出来栄を競う「全国新酒鑑評会」の審査結果を発表した。本県は、特に優れていると評価された金賞酒に19銘柄が選ばれた。金賞銘柄数は都道府県別で兵庫県と並び最多となり、6年連続8度目の「日本一」に輝いた。6年連続は全国で初めて。

昨年達成した5年連続は広島県と並ぶ記録だった。本年度は日本酒の出来を左右するコメの質にばらつきがあり、対応が難しいとされていたが、本県の酒蔵は高い製造技術で補い、日本一を達成。技術力と品質の高さを改めて証明した。

全国から850点の出品があり、入賞は421点。このうち、金賞が252点だった。本県は31点が入賞した。

2002酒造年度以降の金賞受賞では、「奥の松」の東日本酒造協業組合(二本松市)が県内最多15度目の金賞を獲得。次いで「國権」の国権酒造(南会津町)が11年連続13度目の金賞を受賞した。